

第3学年1組 国語科 学習指導案

実施期間 令和〇年〇～〇月
指導者 〇〇 〇〇

1 単元の構想

今の思いをタイムカプセルに残そう ―15年後の私へ― 「レモン哀歌」「生ましめんかな」

子どもの姿	15年後に自分が読むことを想定し、2編の詩から学んだことや気付きと関連付ける文章を書くことを通して、「生きることはどういうことか」について考えている。 2020年の社会情勢や中学3年生である今の自分を振り返ったり、これからの将来を展望したりすることで、詩の持つ力について実感している。		
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
単元の目標	①話や文章の種類とその特徴について理解を深めることができる。(1)ウ ②自分の生き方や社会とのかかわり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。(3)オ	①文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価することができる。C(1)ウ ②文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。C(1)エ	①言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。
目標に向かうための手立て	○「3つのポイント」×「子どもが主体のICT」 【めあて】 それぞれの分析の着眼点の違いや解釈のズレに出合わせることで、表現の効果に関する問いを生み出し、生徒とめあてを共有する。 【振り返り】 韻文の既習事項を生かし、自分で確認しながら課題解決できるよう、前学年までの教科書や学習記録等を準備しておく。生徒自身が画像等で記録に残すことで、単元全体の学習過程を振り返る際に活用し、生徒自身が詩を学ぶ意義について考えを整理できるようにする。 【対話】 着眼点を生かしたグループをつくり、授業支援アプリを使って進捗状況を確認し合ったり、解釈を吟味し合ったりすることを通して、交流を促し、課題の解決に向かうことができるようにする。		
子どもの実態 35人	①事前のテストによると、約7割の生徒が詩を分析する際に使用する学習用語を知っているが、体系化付けられていない。 ②詩歌や小説等の文学的な文章を学ぶ意義について疑問に思っている生徒が半数以上いる。	①分析の着眼点や表現技法を知識として理解している生徒は多いが、作者の意図や表現の効果まで考える生徒は若干名である。 ②26人が、「生き方や社会に対する意見を持ち、まとめることが苦手だ」と答えている。	①言葉の文脈上の意味や表現技法の効果等について、意見を伝えることに抵抗感を感じる生徒が多い。一方、事前調査によると、クラスメイトから新たな視点を得たり、助言を受けたりすることについては、8割が肯定的に受けとめている。

単元の評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①2つの散文の特徴について学習用語を正しく用い、説明している。 ②自分の生き方や社会とのかかわり方を支える詩を読む意義と効用について理解している。	①「読むこと」において、詩の構成や展開、表現の仕方について評価している。 ②「読むこと」において、詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、生き方などについて、自分の意見をもっている。	①積極的に詩の特徴について気付きや疑問を表出し、今までの学習を生かして自分の意見をまとめようとしている。

指導と評価の計画（6時間取り扱い ●本時4/6）

課題等	次	時	主たる学習活動	評価する内容と方法等
て、『生きる』の二編の詩から考えたことを未来へ残そう。	1	1	○単元の課題を知り、見通しを持つ。 ○既習事項を振り返り、学習用語を整理する。	【主】① Yチャートのシート（授業支援アプリ）
	2	3	○『レモン哀歌』『生ましめんかな』について、気付きや疑問を書き込む。 ●気付き等を共有し、補足や修正等を加筆する。	【知】① ワークシート 【思】① ワークシート
	3	2	○「生きることはどういうことか」について考えをまとめ、単元全体を振り返る。	【知】② 【思】② 【主】① 意見文、振り返りシート

2 本時の授業計画

(1) 本時の目標

『レモン哀歌』『生ましめんかな』の表現効果や役割について、類似する表現と比較したり、複数の根拠を関連付けたりして捉え、考えをまとめることができる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動	○主な発問・指示 ・予想される子どもの反応	○教師の支援 ◎評価	備考 ・ICT 機器等
導 入	10	1 前時の振り返りをし、本時のめあてを共有する。	○前時のワークシートを読み合い、気付きを発表しよう。	○前時の振り返りから疑問点や意見の相違を引き出し、めあてへつなげる。	授業支援アプリの共有
		印象深かった表現について、なぜ作者はあえてこのような表現にしたか、それはどのような効果を及ぼしているかを考えよう。			
展 開	5	2 印象深かった表現について、問いをつくり、解決への手がかりとなりそうな部分に見当をつける。	○気付きを①～④に整理して、問いをつくろう。		授業支援アプリ
	20	3 設定した問いについて、自分の考えを書き、交流する。 (1)自分の問いに対する答えを書く。 (2)①～④のグループに分かれ、意見を交換し、全体共有する。	<予想される問いの例> ①語句の選択 「なぜ、『レモンの汁』を『天のものなる』と修飾したのか。」 ②語句の組み合わせや順序 「なぜ、『かなしく白く明るい』という修飾語の組み合わせなのか。」 ③表記 「なぜ、後半3行だけ句読点がなく、昔の言葉を使っているのか。」 ④表現技法 「なぜ、『トパズ色の香気』のように色彩語の使用が多いのか。」		
	10	4 表現の効果や役割について、自分の意見をまとめる。	○参考になる意見をワークシートに書きこもう。 ○根拠を増やしたり、理由付けを充実させたりして補ったことをもとに、表現の効果や役割を考えよう。	○根拠の関連付けや分類を色分けや線で書き込ませることで、整理させる。 ◎【思】① 作者の工夫やその効果について、複数の根拠を関連付けて書きこんでいる。	ワークシート（紙）
終 末	5	5 本時の学習について振り返る。	○自分の予想した学習過程との相違や自分の変容について記述しよう。	○教師主導のまとめを避けるために、振り返りの記述を拾い上げて整理する。	授業支援アプリ（音声入力）

実施期間 令和3年1～2月
指導者 ○○ ○○

1 単元の構想

今の思いをタイムカプセルに残そう ―15年後の私へ― 「レモン哀歌」「生ましめんかな」

単元終了後の児童の姿	15年後に自分が読むことを想定し、2編の詩から学んだことや気付きと関連付ける文章を書くことを通して、「生きることはどういうことか」について考えている。 2020年の社会情勢や中学2年生である今の自分を振り返ったり、これからの将来を展望したりすることで、詩の持つ	知識	考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
------------	---	----	-------------	--------------

ポイント

単元(題材)終了時の児童(生徒)の姿

・学習後、本単元で培った力をこれからの国語や他教科の学習、実生活、将来にどのように生かそうとする子どもを育成したいかを書く。

【文末表現例】

「…ようとしている」「…考えている」等

【対話】 着眼点を生かしたグループをつくり、ロイロノートを使って進捗状況を確認し合ったり、解釈を吟味し合ったりすることを通して、交流を促し、課題の解決に向かうことができるようにする。	①事前のテストによると、約7割の生徒が詩を分析する際に使用する学習用語を知っているが、体系化付けられていない。 ②詩歌や小説等の文学的な文章を学ぶ意義について疑問に思っている生徒が半数以上いる。	①分析の着眼点や表現技法を知識として理解している生徒は多いが、作者の意図や表現の効果まで考える生徒は若干である。 ②26人が、「生き方や社会に関する意見をもち、まとめることが苦手だ」と答えている。	①言葉の文脈上の意味や表現技法の効果等について、意見を述べると抵抗感を感じる生徒が半数以上いる。 ②クラスメイトから意見を求められ、助言を受けたいという生徒が半数以上いる。
--	--	---	---

ポイント

単元(題材)の評価規準

- ・「思考・判断・表現」の文頭には、領域名を明示する。
- ・「知識・技能」「思考・判断・表現」とともに単元の目標を、子どもと共有できる表現に書きかえる。

単元の評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的な学習態度
①2つの散文の特徴について学習用語を正しく使い、説明している。 ②自分の生き方や社会とのかかわり方を支える詩を読む意義と効用について理解している。	①「読むこと」において、詩の構成や展開、表現の仕方について評価している。 ②「読むこと」において、詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、生き方などについて、自分の意見をもち、まとめている。	①積極的に関与している。

指導と評価の計画(6時間取り扱い ●本時4/6)				
課題	次	時	主たる学習活動	評価する内容と方法等
『生ましめんかな』について、二編の詩から考えたことを未来へ残そう。	1		課題を知り、見通しを持つ。 を振り返り、学習用語を整理する。	【主】① Yチャートのシート(ロイロノート)
	2			
	3			

ポイント

課題
資質・能力を育成するために効果的で、主体的な学習につながる言語活動を設定する。

- 本時の授業
 - 本時の目標
『レモン哀歌』『生ましめんかな』の表現効果や役割について、類似する表現と比較したり、複数の根拠を関連付けたりして捉え、考えをまとめることができる。
 - 展開

過程	時間	学習活動	○主な発問・指示 ・予想される子どもの反応	○教師の支援 ◎評価	備考 ・ICT機器等
導入	10	1 前時の振り返りをし、本時のめあてを共有する。	○前時のワークシートを読み合い、気づきを発表しよう。	○前時の振り返りから疑問点や意見の相違を引き出し、めあてへつなげる。	ロイロノートの共有
		印象深かった表現について、なぜ作者はあえてこのような表現にしたか、それはどのような効果を及ぼしているかを考えよう。			
展開	5	2 印象深かった表現について、問いをつくり、解決への手がかりとなりそうな部分に見当をつける。	○気づきを①～④に整理して、問いをつくらう。		ロイロノート
	20	3 設定した問いについて、自分の考えを書き、交流する。 (1)自分の問いに対する答えを書	○「なぜ、『トパツ』を『天のものなる』と修飾したのか。」 ②語句の並び順序「なぜ、『トパツ』という修飾語の組み合わせなのか。」 ③表記「なぜ、後半3行が…」 ④表現技法「なぜ、『トパツ』		

ポイント

本時の評価
「Bと判断する状況」を具体的に明示する。

○【思】① 作者の工夫やその効果について、複数の根拠を関連付けて書きこんでいる。	○教師主導のまとめを避けるために、振り返りの記述を拾い上げて整理する。	ロイロノート(音声入力)
---	-------------------------------------	--------------